

第64回 徳島県社会福祉大会

令和2年11月5日、徳島グランヴィリオホテルにおいて「第64回徳島県社会福祉大会」を開催しました。本年は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、出席者を各表彰区分の代表者や各主催者に限定し実施しました。式典では、永年にわたり社会福祉の推進に功績のあった方々に敬意と感謝の意を込めて表彰するとともに、コロナ禍における「新しい生活様式での暮らしにおいて、誰もが、安全で安心して暮らすことのできる福祉社会の実現」に向け、具体的な取組を進めることを大会宣言として採択しました。

栄えある表彰並びに感謝状を受賞された皆様に心からお祝い申し上げますとともに今後益々のご活躍とご健勝をお祈りいたします。

(主催：徳島県/徳島県共同募金会/徳島県福祉基金/徳島県社会福祉協議会)



社会福祉法人 徳島県社会福祉協議会

〒770-0943 徳島市中昭和町1丁目2番地 徳島県立総合福祉センター内
tel: 088-654-4461 fax: 088-654-9250
e-mail: info@e-fukushi.jp https://fukushi-tokushima.or.jp/



【被表彰者・感謝状被贈呈者】被表彰者数 372名・61団体、感謝状被贈呈者数 3団体

名誉大会長表彰 (知事表彰)

- ◆民生委員・児童委員功労者 2名 ◆社会福祉事業功労者 36名
- ◆ボランティア功労者・団体 51名・16団体

大会長表彰 (県社会福祉協議会会長表彰)

- ◆民生委員・児童委員功労者 55名 ◆社会福祉事業功労者・団体 168名
- ◆ボランティア功労者・団体 38名・9団体 ◆自立生活の模範となる者 7名

大会長感謝 (県社会福祉協議会会長感謝) ◆社会福祉事業協力者 2団体

大会長表彰 (県共同募金会会長表彰) ◆個人の部 15名 ◆地区・団体の部 36団体

大会長感謝 (県福祉基金理事長感謝) 1団体



とくしま県民活動プラザ

〒770-0873 徳島市東沖洲2丁目14番地
沖洲マリナーミナルビル1F
tel: 088-664-8211 fax: 088-664-5345
e-mail: info@plaza-tokushima.com
http://www.plaza-tokushima.com
休館日/月曜日 (祝日の場合はその翌日、年末年始)



ひと54号 february.2021 CONTENTS

特集 NPO法人徳島県森の案内人ネットワーク
自然の中で 仲間と歩む23年

ひと ボランティアグループびーなっつ 田貝 妙子さん
すべての世代が住みやすい世の中に

シリーズ この人から
NPO法人チャレンジサポーターズ 里見 和彦さん
「若者のチャレンジを応援!!」

ハートリレー
No.54 高木さんから三谷さんへ

世界のボランティア
社会を支える人材養成
マーク・グレアム・フェネリーさん

ひろがる未来・つなぐ活動
ボランティアグループ「潮の会」

NPO法人 徳島県森の案内人ネットワーク



森林での自然観察やレクリエーションの指導、
森林のしくみやはたらきの学習、
森林づくりボランティアの実施、
これらを通して、
森林の保護・育成をめざす人の集まりです。

NPO法人 徳島県森の案内人ネットワーク



自然の中で 仲間と歩む23年



せき じゅんこ
会長 関 純子さん



子育てもひと段落した50代の頃、「徳島県森の案内人養成講座」が開催されることを知りました。那賀町出身で自然の中で育った私は、改めて山のことを知りたい、また山で遊びたいと考え、講座を受講しました。

そこは、山や草花に詳しい人、伐採のプロ、鎌使いの達人など、様々な得意技を持つ人たちの集まりでした。意気投合した受講生たちは、もっと活動を極めたいと思い、講座終了後「森の案内人ネットワーク」を立ち上げ、活動を続けていくことにしました。活動の拠点は、徳島市入田町月ノ宮の里山林です。

里山林をフィールドに、森や自然、そしてそこに住む動植物について学び、心豊かな人間に成長してほしいという願いから、私たちは、「少年少女里山マイスター養成講座」や「親子里山体験講座」など、小さな子どもが参加する講座を実施しています。

設立して23年目。いろいろな事業を実施してきましたが、やはり、私たちが、もっと専門的な知識を身に付けて、事業を実施していくことが必要だと感じています。今後は、会員自らのスキルアップにも力を入れていきたいと思っています。

一人ではできないことも、人が集まればできることがあります。大事なのは、人との繋がりと日々感じています。わいわいできる場所があって、子どもたちがいて、仲間がいる。これが、私の元気のもとです。

私たちの活動がきっかけとなり、もっと多くの人が、自然という貴重な財産に関心を持ってくれることを心から願いながら、これからも活動を続けていきたいと思っています。



よしはら しげる
事務局長 吉原 茂さん



若い頃から山が好きで、退職を目前にした頃に受講した「第1回森づくりリーダー養成講座」の活動体験で、「森の案内人ネットワーク」と出会いました。

森での活動は、知れば知るほど奥が深い。林業のことや山野の動植物のことなど、色々な分野を得意とする人たちがたくさんいて、参加する度に新しい知識を得ることができて、自分自身、成長させてもらっています。また、その人たちとの繋がりができるので、参加するのが楽しいです。

森にいますと、日常の生活とは違うので、気分転換になり、子どもたちとわいわいと話をしたり、ピザやバウムクーヘンなどの美味しい野外料理を食べたりすることも楽しみのひとつです。

現在会員は47名いますが、定期的に参加しているのは20名ほど。普段来られていない会員たちとも、何とか集まって、和気あいあいと楽しく活動ができればいいなと思っています。

今後の課題は、会員の研修と自分たちの後継者づくりです。森での活動の中で、経験を積み、知識と技術の向上を図りたいと考えています。

そして、自分たちの後を引き継いでいってくれる会員が育ってくれることを願っています。

(取材：丸山・橋本)

NPO法人 徳島県森の案内人ネットワーク

会長 関 純子

事務局：〒771-1501
徳島県阿波市土成町秋月字毘沙門 91-12
(吉原 茂)
TEL: 090-7578-1380 FAX: 088-695-5261
E-mail: yamajiichan@yahoo.co.jp
U R L: http://moriannai.main.jp/

こんな活動をしています

● 森林資源の活用と森づくり

森林・山村多面的機能発揮対策事業を活用し、薪づくりを通じた雑木林の除伐整備を実施しています。



● 次代を担う人づくり

次代を担う少年少女の豊かな感性を育むため、里山林で、いろいろな作業や遊びを内容とした実践的な講座を開催しています。

◆ 親子里山体験講座 (4歳～小学校低学年・前後期各2回)

「親子」で森の中での遊びを通して里山を楽しく体験



◆ 少年少女 里山マイスター養成講座 (小学生対象・全6回)

里山林でいろいろな作業や遊びを内容とした実践的な講座



◆ 里山入門講座 (成人対象・全4回)

里山での作業体験や自然体験



今回ご紹介するのは、板野町を中心に、幼稚園児から小学生までの子どもを対象にした劇や紙芝居などから始まったボランティアグループ「ピーなっつ」の代表 田貝 妙子さんです。

「『ピーなっつ』って何をしている団体なの?」と聞かれると、田貝さんは困るそうです。あったらいいな、おもしろそうだな、とその時々感じたことにチャレンジしているようで、メンバー同士で意見を出し合い試行錯誤する過程が楽しいんです、と語っていただきました。

田貝さんは、メンバーが出したアイデアに対して、おもしろそう、楽しそうと感じると、とにかくやってみないと気が済まないようで、メンバーが何気なく発言したことに対して「それやってみよう!」とすぐに行動してしまうそうです。活動のために、色んなところに赴く田貝さんは、5人のお子さんのお母さんで、一番下の子はまだ1歳です。どこで活動するにも、一番下のお子さんと一緒に。活動に熱中できるのは、夫をはじめ、家族の理解と協力があってこそ、本当に感謝していますと話していました。

現在、新型コロナウイルスの影響から活動が制限されていますが、その中でも新しいことに挑戦されている田貝さん。これまでは、親子向けの活動がメインとなっていました。しかし、若い世代が過ごしやすい地域を作るためには、その地域に住むすべての世代が心地いいと思えることが必要です。そ



ボランティアグループ ピーナっつ
代表 田貝 妙子さん

● 連絡先 Tel: 080-4037-9103
Mail: peanuts_itano@googlegroups.com
URL: https://peanutsitano.amebaownd.com/

のために、親子向けの活動は若い人たちに任せて、田貝さんは、中高年・高齢者向けの活動にシフトしていると考えているとおっしゃいました。

私たちが理想とする活動をするにも、私たちに興味を持ってくれる人がいないと、活動は進みません。まずは、「この人たちおもしろそう」と思ってもらえるような活動を地道に続けていくことが大切なんだそうです。続けていくうちに、理解者や協力してくれる人が見つかっていく。成功のカギは自分ではなく、他の人

が持っていたりするもの。遠回りに見えるやり方も、実は近道だったりする。これからも周りを巻き込みながら、できるひとが、できるときに、できることを、楽しみながらやっというと思っています、とのことでした。

(取材: 北岡、大津)



イタノザウルスと「ピーなっつ」のメンバー

シリーズ この人から

若者のチャレンジを応援!!

NPO 法人チャレンジサポーターズ 理事長 里見 和彦

チャレンジサポーターズの理念は、「街づくりは人づくり」を掲げており、主に「SunSunマーケット」「とくしまチャレンジ塾」「ポッポ街プロジェクトむすびcafe」の3つの事業に取り組んでいます。

他にも、キャリア教育の推進として、県内の小学校・中学校へ出張授業「仕事セミナー」を年間15校程度行っています。お金とは、仕事とは、価格と価値(付加価値)、考動原則など、仕事を創り出すことで地域に灯りを灯すライトワークを奨めています。

このように、小学生から高校生・大学生に向けて様々な活動を通じて、コミュニケーション力、創造(想像)力、付加価値を創り出す人材の育成を目指しています。

今後は、県内の学校・企業・団体ともっともっと連携



とくしまチャレンジ塾



NPO法人
チャレンジサポーターズ理事長
創業アドバイザー
(徳島県信用保証協会/
とくしま産業振興機構)



中学校へ出張授業

し、学生たちが徳島を知り、学び、徳島と繋がる活動をしていきたいと思っています。具体的には、徳島の企業・団体のPRをホームページ制作や動画制作、SNS発信などでサポートするチームを作りたいと思います。近年の学生は、社会になんらか貢献したいという願望がありながら、地域の企業や団体と繋がっていないため活動がボランティアにとどまっています。地域と学生を繋ぎ、地域に貢献できる経験を少しでも多く積んでもらえるチャレンジをサポートしていきたいと思っています。

コロナ禍の中、NPO法人の運営は厳しいですが、学生が集まり、交流し、チャレンジできる場を活かし、様々な方のご支援をいただきながら運営していきたいと思っています。みなさまの温かい応援をよろしくお願い致します。

「ゆめバンクとくしま」寄付による助成事業の活動報告

「ゆめバンクとくしま」では、団体や個人からの寄付を助成金として活用し、社会貢献活動に役立てています。今回は、令和2年度の活動(その2)です。



徳島県肢体不自由児者
父母の会連合会

「ホームページとOnlineパブリックBOXで
障がい児者支援事業」



You TubeでパブリックBOXを配信している様子

特定非営利活動法人
全国邦楽台奏協会

「和楽器体験授業」



昭和小学校で行われたNPO出前授業

特定非営利活動法人 阿波勝浦井戸端塾

「『恐竜王国かつら』創生事業」



製作した日本最古のカメのオブジェ

ファミリースペース
富田運営委員会

「ファミリースペース富田」



放課後に行われる
「しゅくだいカフェ」の様子

とくしま自然観察の会

「子どもたちや市民による『吉野川干潟応援プラン』の実践」



子どもたちによる吉野川干潟の調査の様子

ハートリレー

No.54 高木さんから三谷さんへ



セルフガード 代表
みたに かずこ
三谷 和子さん

地域に広げる健康づくりの輪

「健康な体を維持し、薬を飲まなくて良い生活を送れることがベストだと考えます」。

こう話す三谷和子さんの本業は、徳島市内で60年余の歴史を持つ「三谷薬局」の代表取締役で薬剤師です。それだけに、三谷さんの言葉は素直で、健康社会への強い思いが感じられます。

創業者である実父の跡を継いで10年。本業だけでは出来ない事があると、この間に、健康づくりをサポートするボランティア団体「セルフガード」を立ち上げ、「食の安全」「健全な食生活」など食に関する啓蒙活動や「健康ウォーキング」のような健康づくりイベントを開催しています。

活動の根幹は、薬を提供するだけでは患者さんの健康増進には繋がらない、との考えの表れです。

近年、健康寿命という言葉をよく耳にします。患者さんやお客様に限らず、地域の皆さんの健康づくりにコツコツと努力を積み重ねてきた「芽」は広く根を張り続けています。

たかき ひろよ
文・高木 博代



とくしま県民活動プラザ

- プラザ開館時間 開館時間：10:00～18:00
【研修室利用時間】
火曜日～土曜日：10:00～21:00
日・祝日：10:00～18:00
休館日/月曜日(祝日の場合はその翌日)、
年末年始(12/29～翌1/3)



● 公共交通機関をご利用の場合 ●

- JR徳島駅前、徳島市営バスターミナル6番のりばより、
・「中央市場」行きに乗車 終点「沖洲マリンターミナル」下車すぐ
- ・「沖洲・南海フェリー前(マリンピア経由)」行きに乗車「マリンターミナル前」下車すぐ

とくしま県民活動プラザ登録団体の皆様へ

～以下の登録内容に変更がありましたら、
変更届をご提出ください～

- ①団体名 ②代表者名 ③連絡担当者 ④所在地
⑤電話・FAX番号 など

変更届は、とくしま県民活動プラザ窓口においてあります。プラザホームページからも変更届様式をダウンロードできます。

編集後記

「自分ことわざじてん」という9歳の子どもが書いた本の中に、「手つだいが こうかいに かわる」という自分ことわざがあります。意味は「一回手つだったら、たくさん やらされた」。例えば「小さい子とあそんだら まい日 あそばされた」。ボランティア活動が、こんな状態になっていませんか。私も含めて、みんなが自ら進んで、楽しみながら活動したいですね。(内藤)

徳島県医師会は「禁煙」を推進しています!



一般社団法人
徳島県医師会

会長 齋藤 義郎
徳島市幸町3丁目61番地
TEL 088-622-0264

CLEANUP アドプト・プログラム吉野川
吉野川を私たちの手でもっときれいに!

参加団体募集中!!
HPはこちら! QRコード

吉野川交流推進会議 徳島県庁 未来創生政策課内
TEL:088-621-2743 FAX:088-621-2758

令和2年度

http://www.fukushihoken.co.jp

ふくしの保険 検索

全国200万人加入!! 日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償 ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料(1名あたり)

保険金の種類	プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	
	手術保険金	入院中の手術		65,000円
		外来の手術		32,500円
	通院保険金日額		4,000円	
賠償責任の補償	地震・噴火・津波による死傷	×	○	
	賠償責任保険金(対人・対物共通)		5億円(限度額)	
年間保険料		350円	500円	

商品パンフレットは
コチラ



(ふくしの保険)
ホームページ

団体割引 20%適用済/過去の損害率による割増引適用

<基本プランに加入される方へ>

基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません。

◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。

※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。二次被害への備えとしても、あらかじめ「天災・地震補償プラン」に加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

ボランティア行事用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

送迎サービス補償 (傷害保険)

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、パンフレット・詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〈引受幹事〉損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL:03(3349)5137
受付時間:平日の9:00~17:00(土日・祝日、12/31~1/3を除きます。)

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
営業時間:平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

損保ジャパン日本興亜は、関係当局の認可等を前提として、2020年4月1日に商号を変更し、「損保ジャパン」になります。

●この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

世界のボランティア

社会を支える人材養成

四国大学 文学部 国際文化学科 教授
(四国大学学生ボランティア活動支援室スーパーバイザー)

マーク・グレーム・フェネリー
(Mark Graham Fennelly)

イギリス・アメリカなどでは、若者や様々な課題をもった青少年たちが地域貢献活動・国内外のボランティア活動に積極的に参加しています。彼らは、ボランティア活動を通して、様々な問題を仲間とともに乗り越える経験をし、地域を支える人材へと成長していきます。日本も同様に若者や様々な課題を抱えている青少年たちに、そのような経験を与えるべきだと思います。積極的に参加するためには時間的余裕(ギャップ・イヤー制度、部活の時間見直し等)、経済的余裕(ファンドレイジングに対する意識改革)そしてきっかけ(ワークキャンプ等の充実)を確保する必要があります。

と感じています。私自身は、若い時から様々なワークキャンプや海外ボランティア活動に参加するチャンスがありました。1年間長期ボランティアに参加する時間は、ギャップ・イヤー制度でもらえましたが、参加費は全てファンドレイジングで集めました。その活動を通してライフワークである教育に出会えましたし、大学の時に参加したワークキャンプで日本人に出会えたことが日本に来るきっかけとなりました。是非日本の若者にも私と同じように成長する機会を得て欲しいです。そして今度は、社会に支えられた若者が、社会を支える大人へと成長していくことを期待します。



ひろがる未来・つなぐ活動

環境美化により地域交流を進める

ボランティアグループ「潮の会」

平成7年(1995年)に、「地域の環境を良くしたい」、「地域住民との交流を深めたい」という想いに賛同した鳴門西地区の有志が集まり活動が始まりました。友情・奉仕・修練の3つの信条のもと、ボランティア活動を通じて地域を活性化するため、主に「鳴門西循環資源ステーション」にて資源ゴミの回収と分別活動を行っています。会員数は、最年少の小学生をはじめ40名ほど。当初は月1回の活動でしたが、地域の方々から「もっと活動してほしい」という声をいただき、現在は第2・第4日曜の月2回になりました。

ステーションへの持ち込みが難しい高齢者等のため、軽トラックによる回収も行っています。この活動を続けていると顔見知りも増え、地域の年中行事(夏の阿波踊りや冬の左義長等々)に仲間とともに携わる楽しみも多く、これが私たちの原動力となっています。活動後に開催する月例会では、どのようにすれば地域の方々から分別回収への理解と協力が得られるか皆でアイデアを出し合い、形にしています。ドラム缶や単管パイプを組み合わせて作った分別用のゴミ回収ラックを設置したり、時に分別外の生ゴミや不法投棄もあることから、その対策用に防犯カメラを取り付けたりもしています。しかし、会員の高齢化が進み、若い後継者が少ないことが課題の一つです。いずれ世代交代した若い人たちと共に会を盛り上げていけるよう、若い人に参加してもらえよう工夫をしていきたいと思っています。

なお、資源ゴミの回収により鳴門市から出る報奨金の一部は、幼稚園や地域で活動している団体などへの寄付や全世帯に指定のゴミ袋を配付する等、地域全体に還元しています。この地域が一体となってゴミの減量化を進めることにより、住みよいキレイな町、顔の見える町へと繋がっていくことを願っています。
【平成25年度厚生労働大臣表彰受賞】

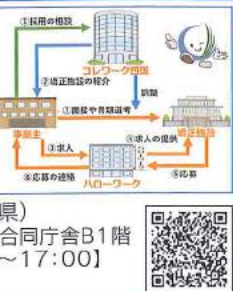


コレワーク四国

令和2年7月
発足しました

罪を犯して刑務所や少年院に入っている人と、事業主の皆様とをつなぐお手伝いをする**法務省の機関**です。刑務所出所者等の雇用にご関心があればお気軽にご相談ください。

雇用から始まる社会貢献 法務省が応援します
法務省コレワーク四国(担当エリア) 四国4県
〒760-0033 香川県高松市丸の内1の1 高松法務合同庁舎B1階
電話: 0120-29-5089【平日 10:00~17:00】
E-mail: corrework-shikoku@i.moj.go.jp



ありがとうございます

預託
申し出一覧

- 株式会社セブン-イレブン・ジャパン様より松茂町社会福祉協議会へ店舗改装に伴う在庫商品の御寄贈
- 一般社団法人生命保険協会徳島県協会様、徳島県に働く生保の仲間様より、藍住町社会福祉協議会へ福祉巡回車1台の御寄贈
- 公益財団法人生命保険フィナンシャルアドバイザー協会徳島県協会様より、佐那河内村社会福祉協議会へ福祉巡回車、8団体へ車いすの御寄贈

ふくしと私



社会福祉法人 二葉福祉会

理事長 岸 麻生

智彦

私の生家は檀家さんが百軒もない小さな小さなお寺です。その小さなお寺は昭和6年から保育園を開設していました。昭和初期は認可もない時代ですから託児所のようなものだったのでしよう。しかし、戦中を除いて綿々と保育園は続き開設から36年、私はそのお寺に生を受けました。

そして私は庭を子どもたちが走り回り、お寺の本堂の中だけでなく自宅の中でも子どもたちが生活するような環境で育ちました。

保育園である本堂でお葬式があった時は、子どもたちが本堂にいらなくて、自宅が子どもを思い出します。

小学生になっても学校から帰ると、園児たちを引き連れて裏山に登ったり銀杏の木に登って遊んだり、まるで園児たちの番長のように、楽しいこと、危険なこと、ドキドキすることを教えて、よく祖母から叱られていました。



自然に触れる浜遊び

私の兄弟はみな父のこの言葉を守って保育園番長を楽しんでいたように記憶しています。

お迎えの遅い子は一緒に炬燵に入っておせんべいを食べたり、晩御飯と一緒に食べたりした記憶も残っています。小さな本堂、狭い庭でしたが、そこでもみんなで探して見つける遊びは、とても楽しかった記憶として残っています。

今も当時の園長であった祖母も、それを受け継いだ父も亡くしていたのではなく、地域の子を地域で育てることが当然のこととして機能していたのだと思います。当時は近所の幼児をおんぶして遊んでいる友だちの姿を不思議だと思ったことがあります。親が不在の子どもを保障する。子どもの世話をすることができる人が地域の子どもの面倒を見るということが、地域コミュニティの常識であったのだと思います。

なり、「二葉保育園」というバトンは私に渡されました。ふくしと私という原稿の依頼を受け、この原稿に向き合ったとき、自分の児童福祉の原点は、この知らない子たちと、一緒に笑い合ったあの頃だったと改めて思いました。

現在では地域の主要産業であった漁業が衰退し、子どもも劇的に少なくなりました。漁師の子という特殊環境の幼児は少なくなり、今ではシングルマザーの子どものケアが大きな課題となっています。国の制度改革などありますが、福祉の原点は目の前にいる子どもの生活と成長を守っていくことであることを忘れず、子どもたちの実情から目を背けることなく、地域に根ざした福祉法人として保育園を運営し、地域から愛されたいと思っています。



年2回楽しむ海水浴

地域とお客さまの「ベストパートナー」へ



ともに未来へ
~ to the future with ... ~



令和2年度 社会福祉従事者研修を 開催いたしました

Web研修

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、集合研修は行わず、Zoomを使ったWeb研修として開催いたしました。

研修会によっては締切を前に募集定員を上回るお申込みをいただき、やむなくお断りさせていただくこともあるほど反響をいただきました。事務局も慣れないなかでのWeb開催でしたが、受講いただく事業所の皆さまにも、事前の接続テスト等、ご協力をいただきながら無事に開催することができました。参加いただいた皆さまからも「初めてのZoom研修でしたが、受けることができて良かった。」などのお声をいただきました。

来年度以降も、事業所の皆さまが参加しやすい研修会となるよう計画してまいります。

講師の先生方も、今年度は形を変えての研修会となりましたが、多々ご協力をいただき大変お世話になりました。今後も引き続きどうぞよろしくお願いいたします。



新任職員研修の様子（健祥会グループ本部にて）



記録の書き方研修の様子（総合福祉センターにて）

届出できる資格・研修

介護福祉士

介護職員初任者研修

介護職員実務者研修

旧ホームヘルパー養成研修1級・2級課程

旧介護職員基礎研修

入門的研修

厚生労働省 中央福祉人材センター
都道府県福祉人材センター

届出は
こちらから



福祉のお仕事

www.fukushi-work.jp

検索



介護福祉士等の資格を お持ちの皆さん

あなたを支える、
せつかくの資格。



届け出してね。



届出するだけで、いつでも福祉・介護の仕事の各種相談・サポートがずっと受けられる
介護の有資格者 届出制度をご活用ください。

ライオンズクラブ国際協会 336-A 地区と 「災害時におけるボランティア支援に関する協定書」を締結しました

令和2年12月10日、ライオンズクラブ国際協会336-A地区と徳島県社会福祉協議会は、災害が発生した被災地におけるボランティア活動を支援するために必要な事項を定めるため、「災害時におけるボランティア支援に関する協定書」を締結しました。

<ボランティア活動の支援内容>

- ①被災地のボランティアセンターまでのボランティア輸送バスの手配・提供
- ②被災地のボランティアセンターにてボランティアへの飲食提供
- ③ボランティア活動のための資機材の提供、ほか



こどもがいきいきと活動するまち ぷらざタウン 令和2年10月31日(土)

こどもたちが、NPO法人やボランティア団体の取り組みを体験することにより、地域の良いところや人と人とのつながりを通じた「まちづくり」に気づき、今後の活動に参加する契機となることを目的に実施しました。(参加者：28名(小学4年～6年生) 参加団体：9団体)



後日、参加団体の活動をもっと体験してみたい場合にそれぞれの団体に出向いて参加できる「小学生おためし体験」も実施しました。参加者の皆さま、団体の皆さまありがとうございました。

「来て・みて・遊んで、再発見！」 第15回 とくしまNPO・ボランティアフェア

令和2年11月1日(日)

展示や物品販売、ステージ発表等を通じて、NPOやボランティア団体の活動内容を広くPRすることにより、県民の社会貢献活動への参加を促進するとともに、各団体の活動の一層の活発化を図ることを目的に開催しました。幅広い年代の方々に、徳島で活躍するNPO・ボランティア団体の活動を知っていただく機会となりました。(参加団体：16団体 来場者：1,200名)



両日とも、徳島市の新町川水際公園にて開催し、感染症予防対策として飛沫予防や出展団体数の制限による対人距離の確保等を行い実施しました。

(主催：徳島市市民活力開発センター、とくしま県民活動プラザ、徳島県社会福祉協議会)